

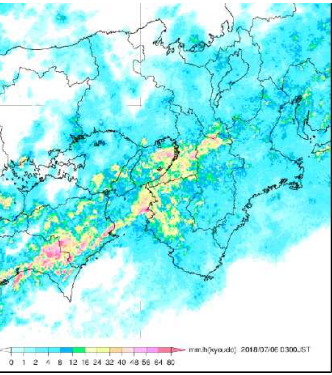
平成30年7月豪雨の概要及び 直轄事業の取組

平成30年7月豪雨の概要

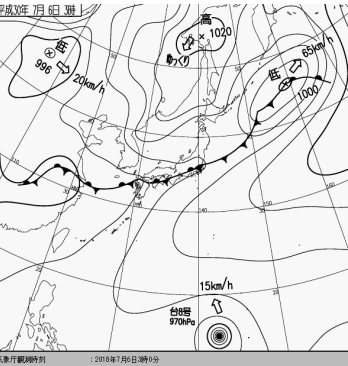
【出水概況】

- 6月28日以降、華中から日本海を通過して北日本に停滞していた前線は7月4日にかけて北海道付近に北上した後、7月5日には西日本まで南下してその後停滞した。また、6月29日に日本の南で発生した台風第7号は東シナ海を北上し、対馬海峡付近で進路を北東に変えた後、7月4日15時に日本海で温帯低気圧に変わった。前線や台風第7号の影響により、日本付近に暖かく非常に湿った空気が供給され続け、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となった。
- 6月28日から7月8日までの総降水量が四国地方で1800ミリ、東海地方で1200ミリを超えるところがあるなど、7月の月降水量平年値の2～4倍となる大雨となったところがあった。大和川流域では、奈良市から生駒山地、堺市にかけて雨量が多い状況であった。
- 降雨は5日の夕方から6日の夜にかけ、大和川流域で最大1時間降水量約31mm、柏原上流域平均累加雨量で約155mmを記録し、大和郡山市においては、内水における家屋浸水が発生した。

レーダー画像(6日 3時時点)



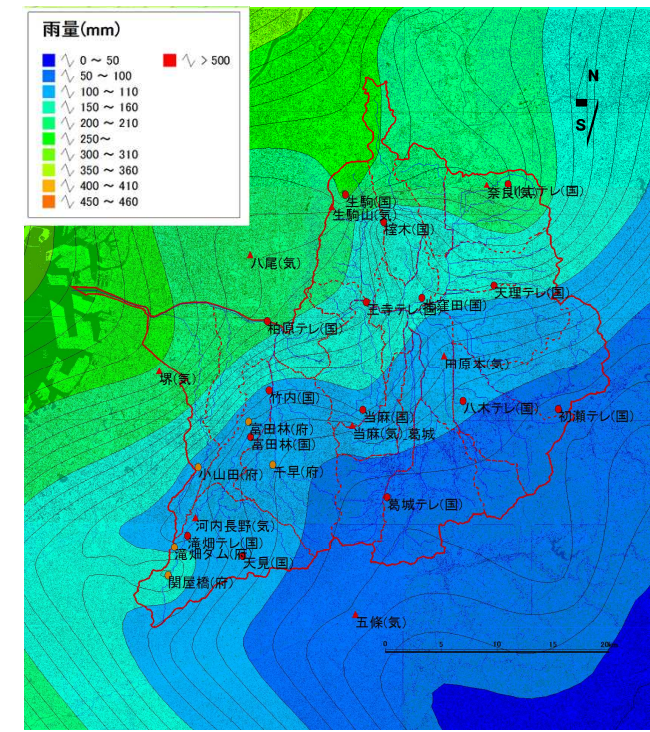
天気図(6日 3時 時点)



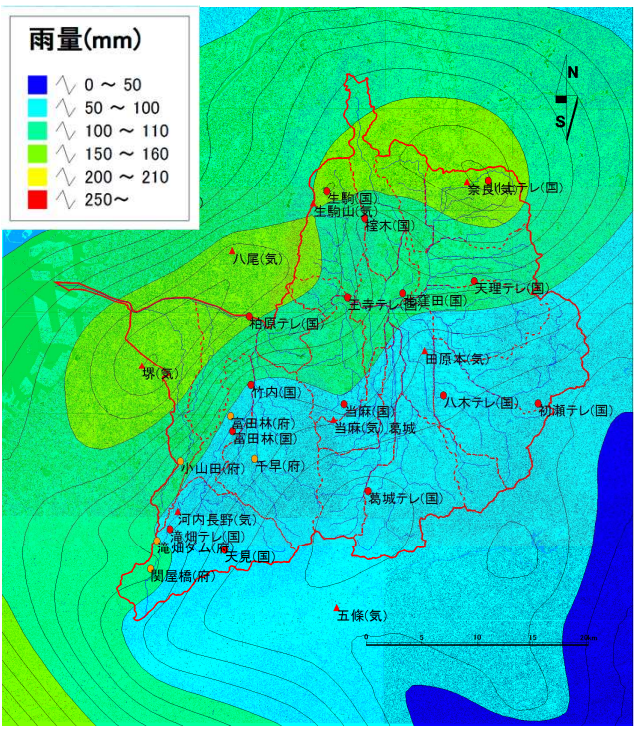
(出典)気象庁HP

雨量の分布

【総雨量】(7/5 1時～7/7 0時)



【12時間雨量】(7/5 21時～7/6 8時)

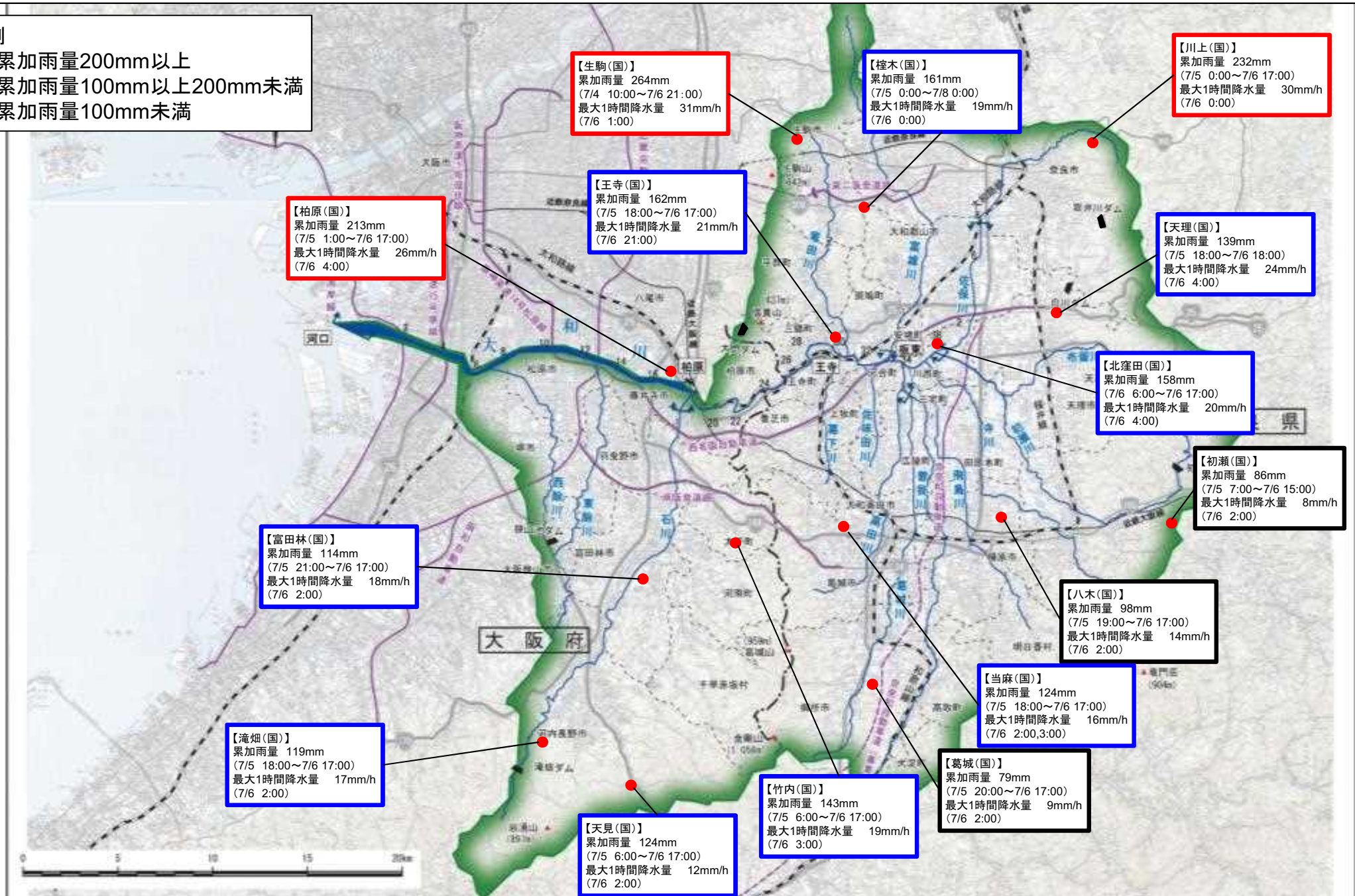


※速報値であり今後の精査により変更することがあります。

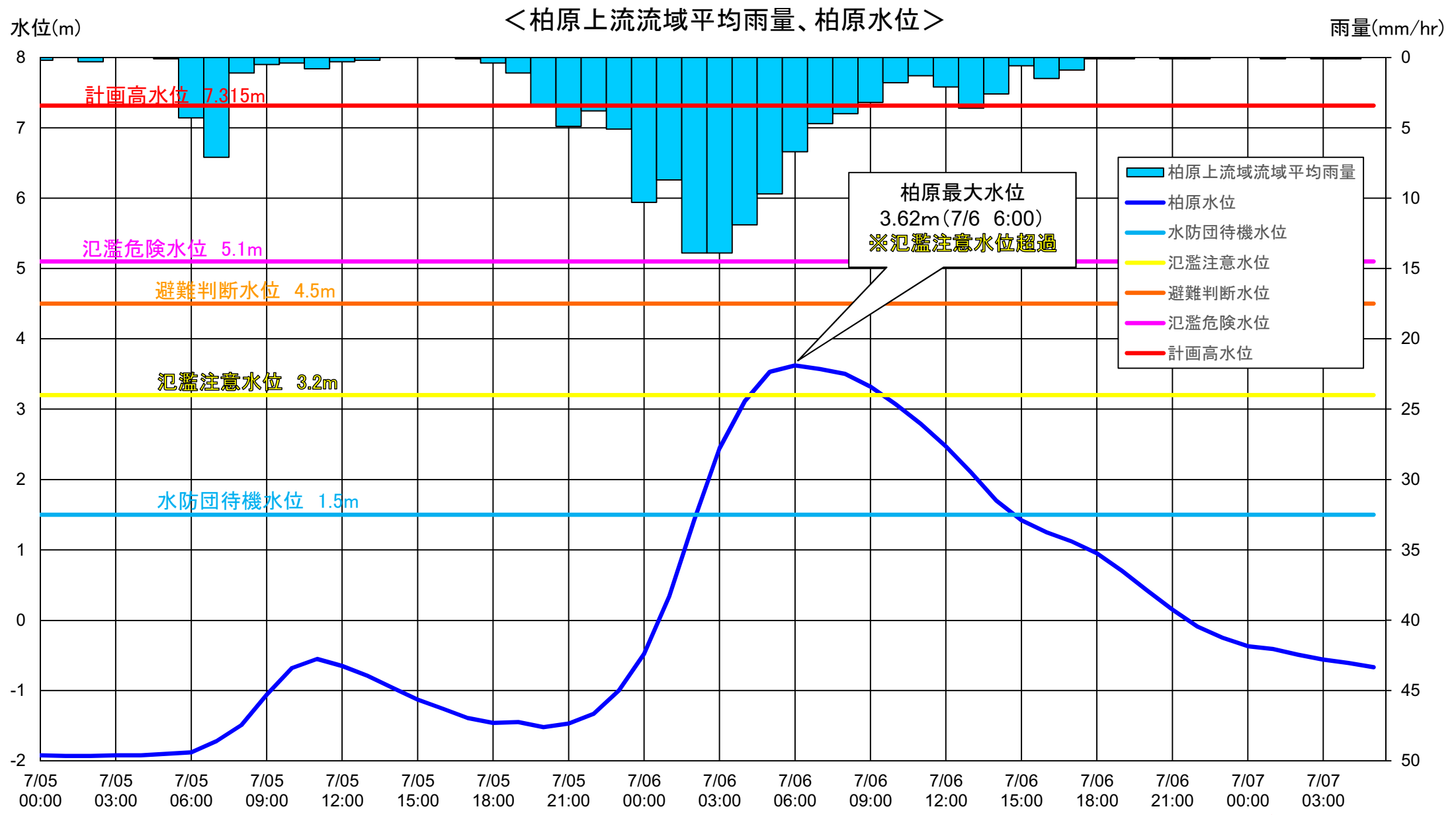
大和川流域における降雨の状況

○大和川流域では、多いところで250mmを超える累加雨量を観測。

- 凡例
- : 累加雨量200mm以上
 - : 累加雨量100mm以上200mm未満
 - : 累加雨量100mm未満



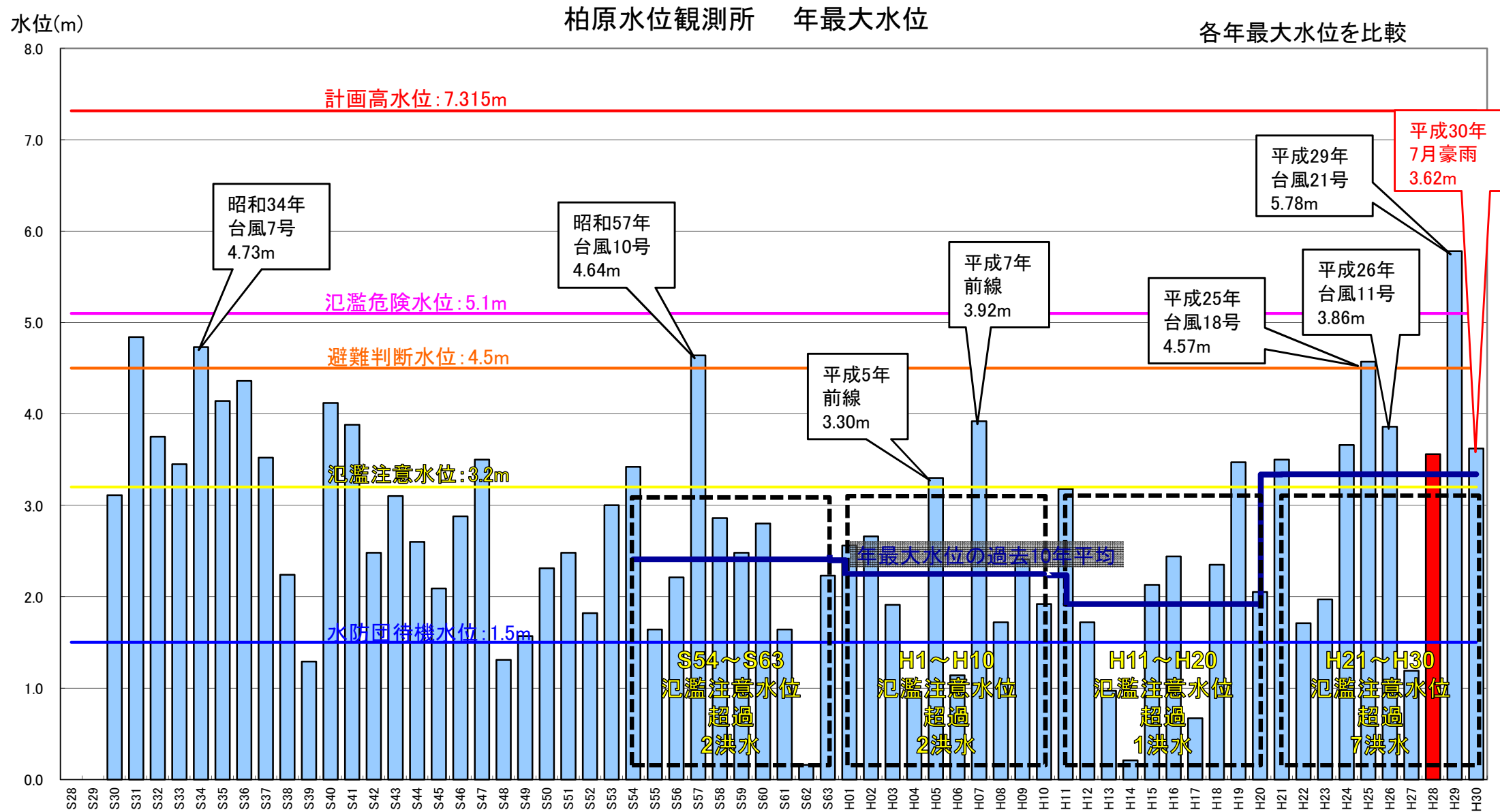
○柏原水位観測所では、6日 6時00分に最大水位 3.62mを記録



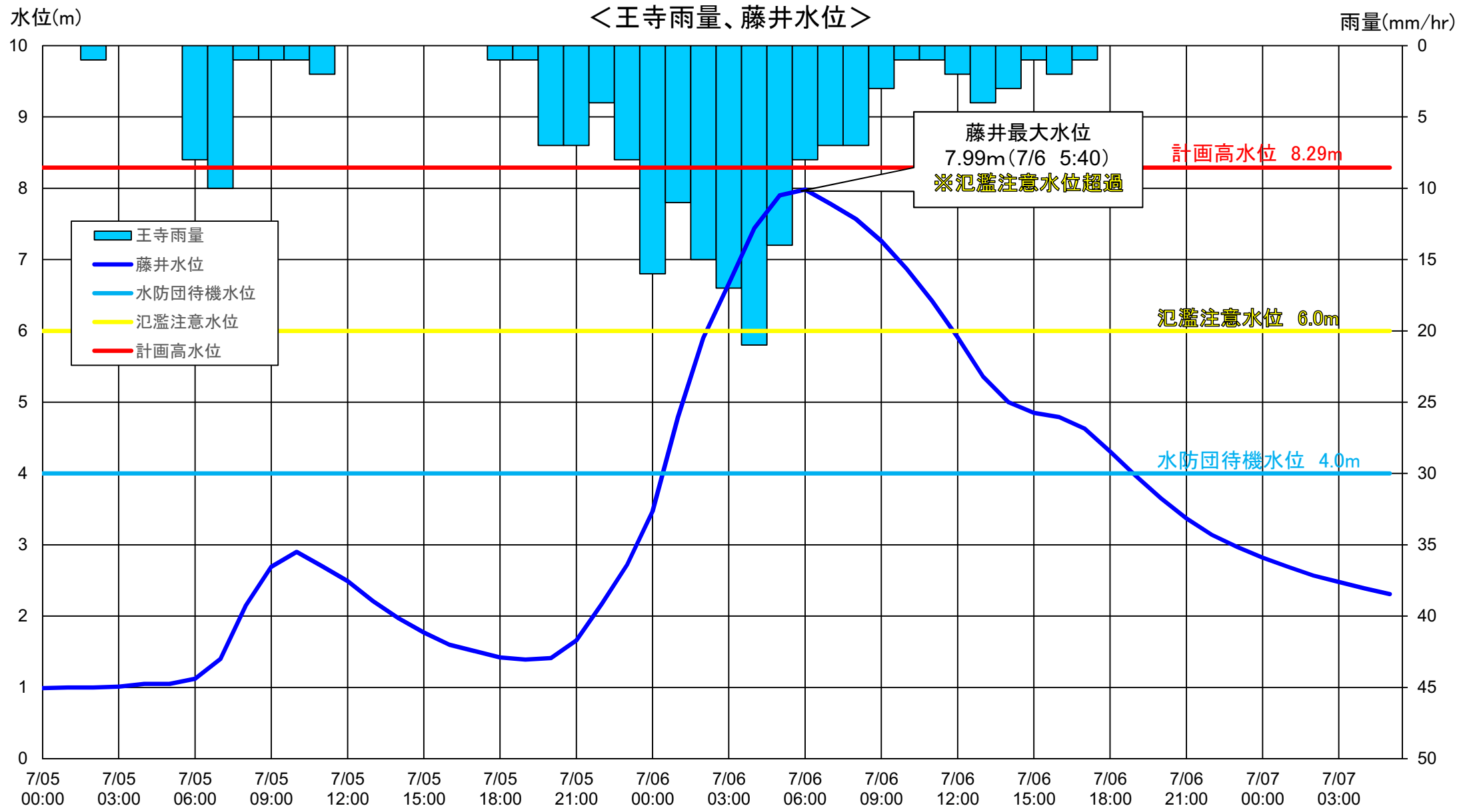
※速報値であり今後の精査により変更することがあります。

過去の洪水との比較(柏原水位観測所)

- 柏原水位観測所では、氾濫注意水位（3.20m）を上回る3.62mの水位を記録
- 近10カ年は氾濫注意水位を超過する洪水が、頻発し、年最大水位の過去10年平均も上昇傾向。

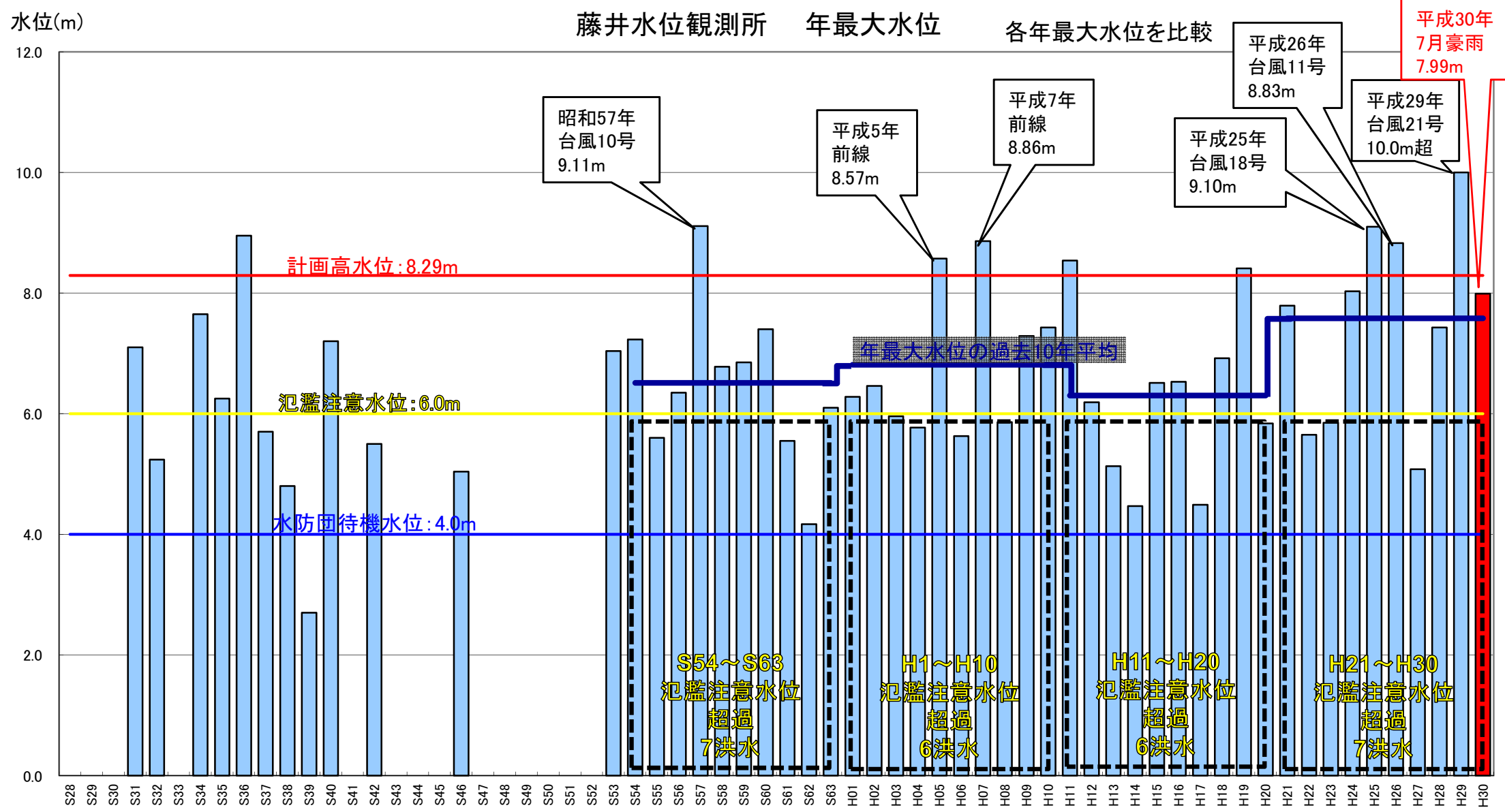


○藤井水位観測所では、6日 5時40分に最大水位 7.99mを記録

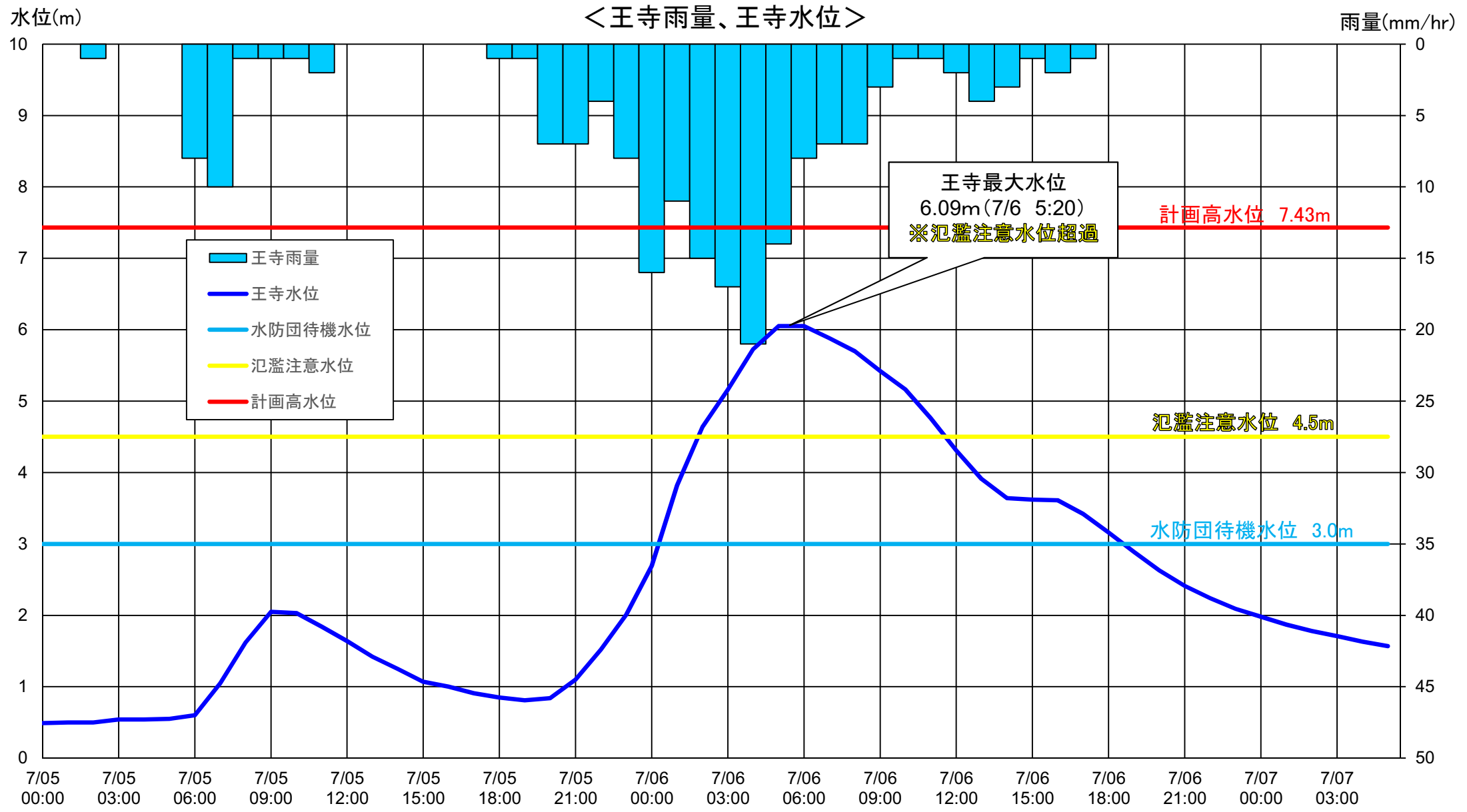


過去の洪水との比較(藤井水位観測所)

- 藤井水位観測所では、氾濫注意水位（6.00m）を上回る7.99mの水位を記録
- 近年では、年最大水位の過去10年平均も上昇傾向

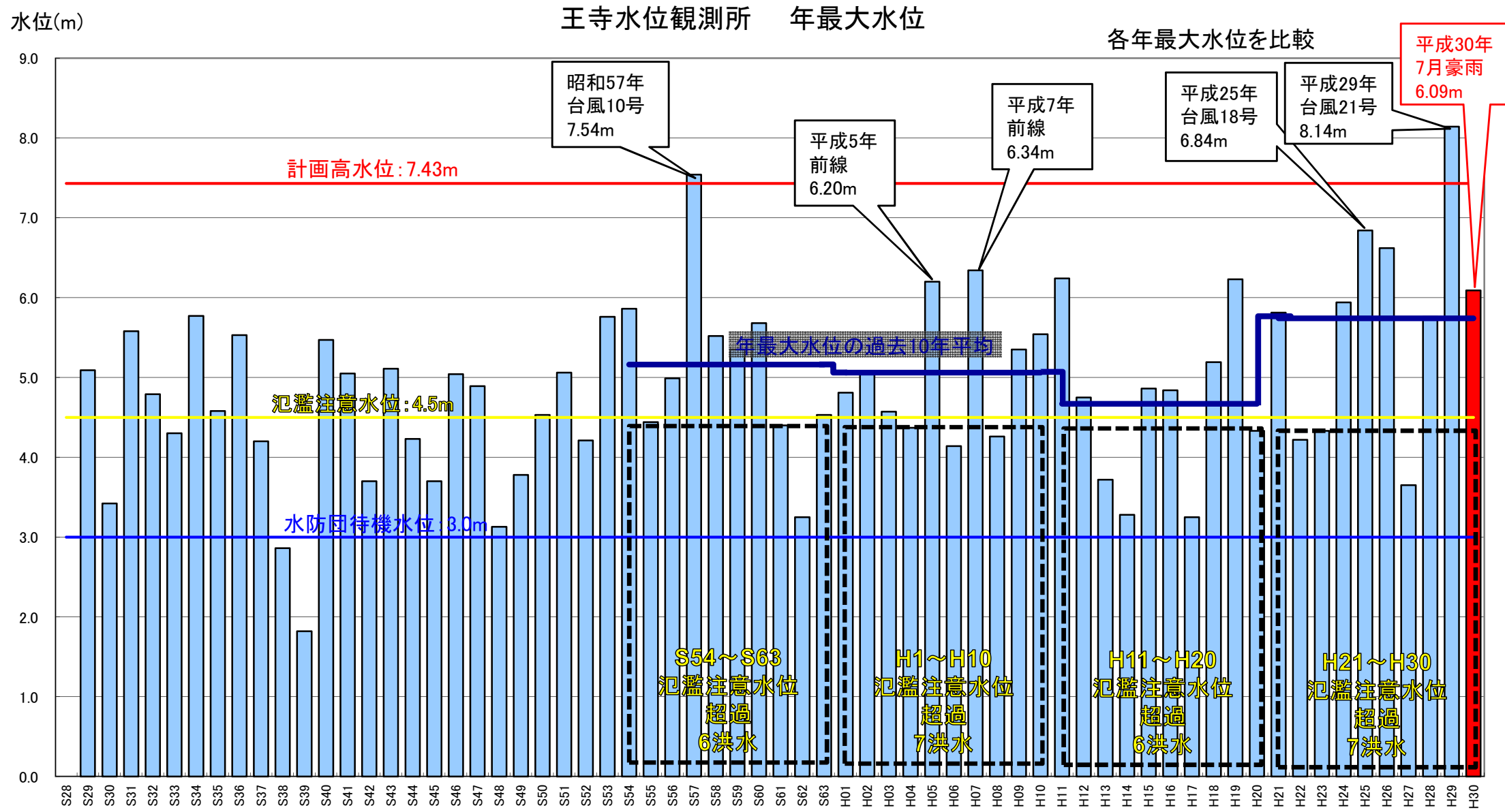


○王寺水位観測所では、6日 5時20分に最大水位 6.09mを記録

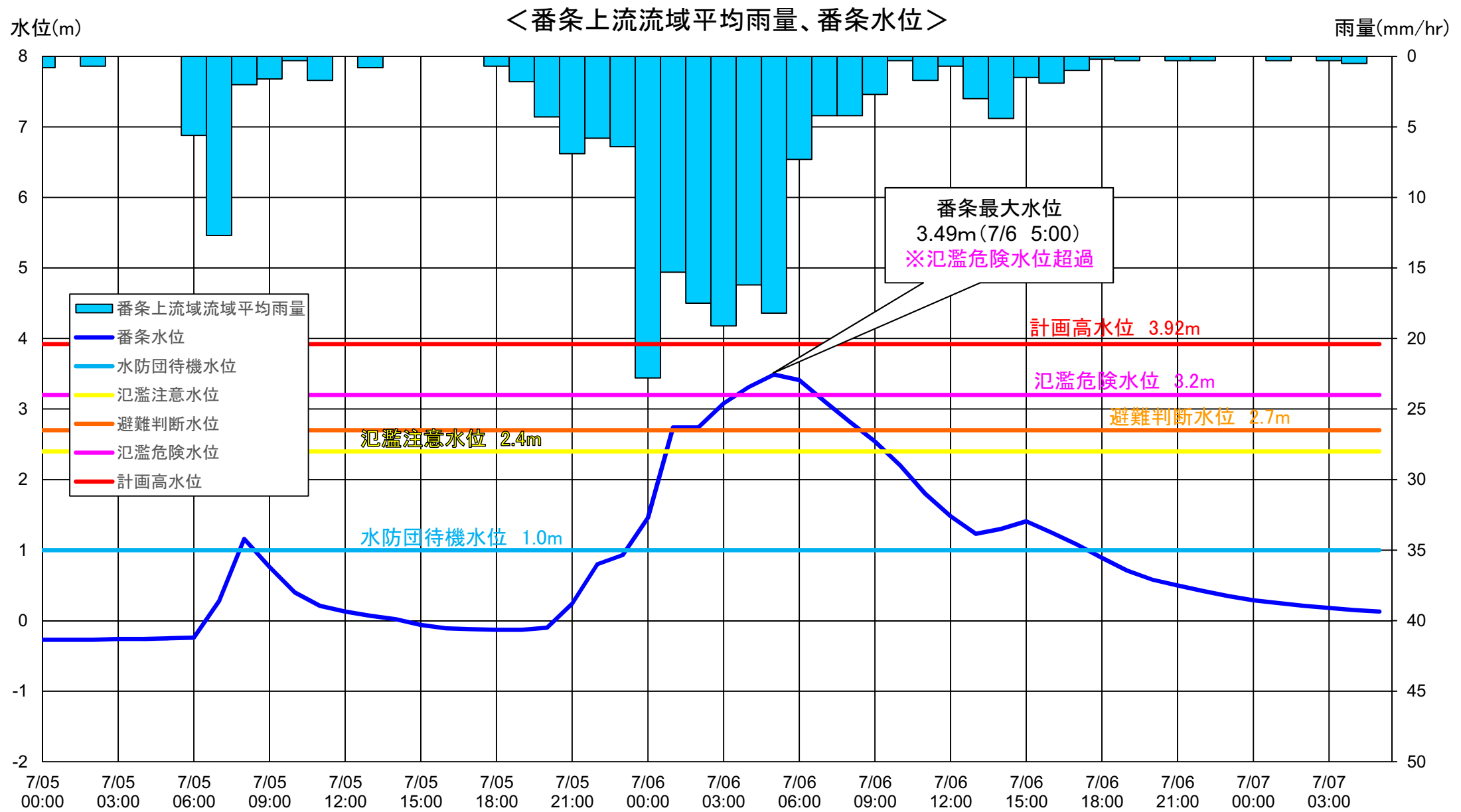


過去の洪水との比較(王寺水位観測所)

- 王寺水位観測所では、氾濫注意水位（4.50m）を上回る6.09mの水位を記録
- 近年では、年最大水位の過去10年平均も上昇傾向

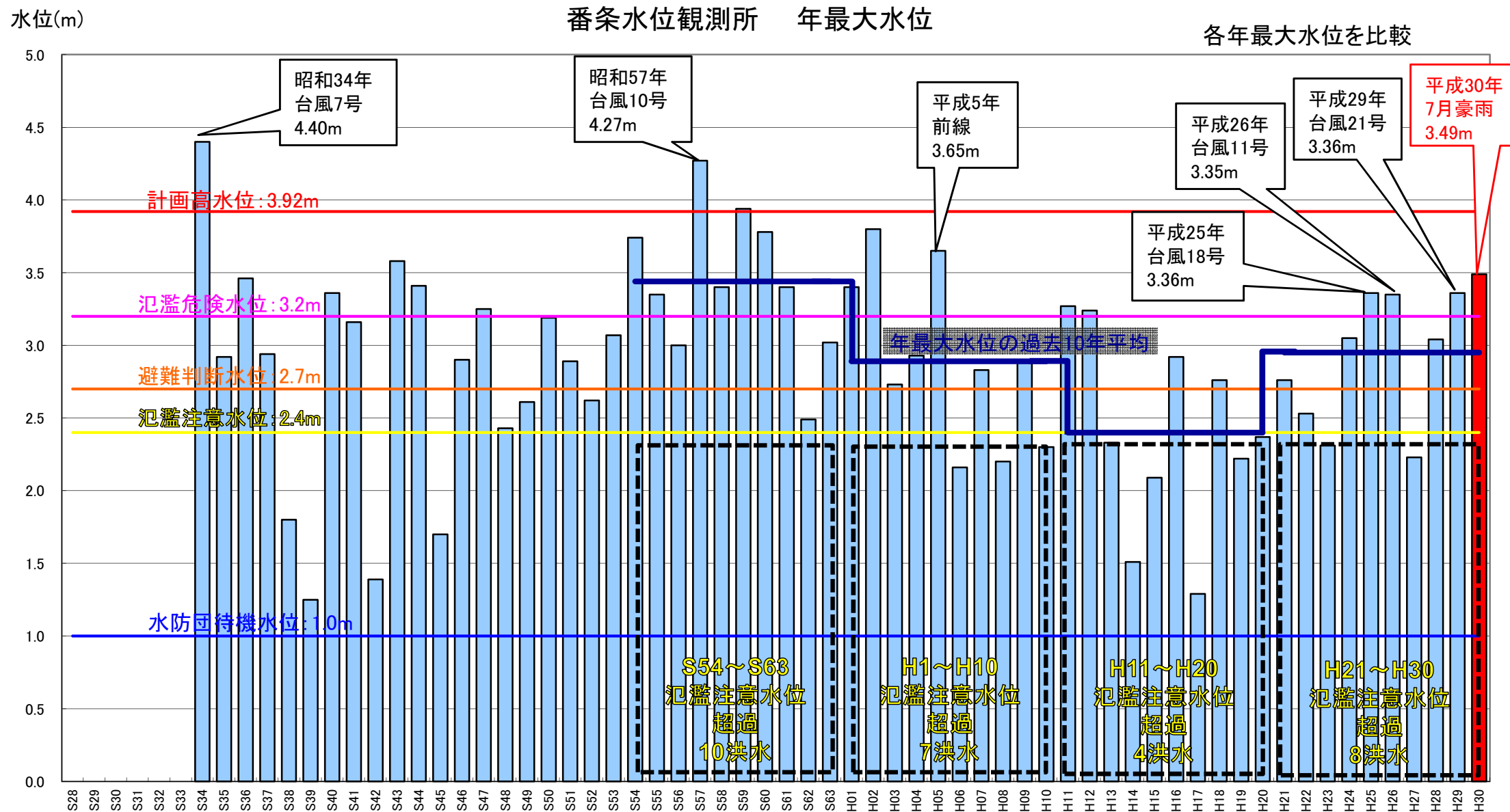


○番条水位観測所では、6日 5時00分に最大水位 3.49mを記録



過去の洪水との比較(番条水位観測所)

- 番条水位観測所では、氾濫危険水位（3.20m）を上回る3.49mの水位を記録し、**近年では最大の水位を記録**
- H22年頃までは、年最大水位の過去10年平均は低下傾向であったが、近年は増加傾向にある。



被害の概要(大和川水系大和川)

○沿川市町で内水による浸水被害が発生。

- ・三郷町勢野東地区
：浸水面積約1ha
- ・川西町保田地区、安堵町窪田地区、斑鳩町目安地区
：浸水面積約97ha
- ・大和郡山市長安寺地区
：浸水面積約3ha
- ・大和郡山市丹後庄町地区、番条町地区、稗田町地区、杉町地区
：床下浸水15戸、浸水面積約31ha

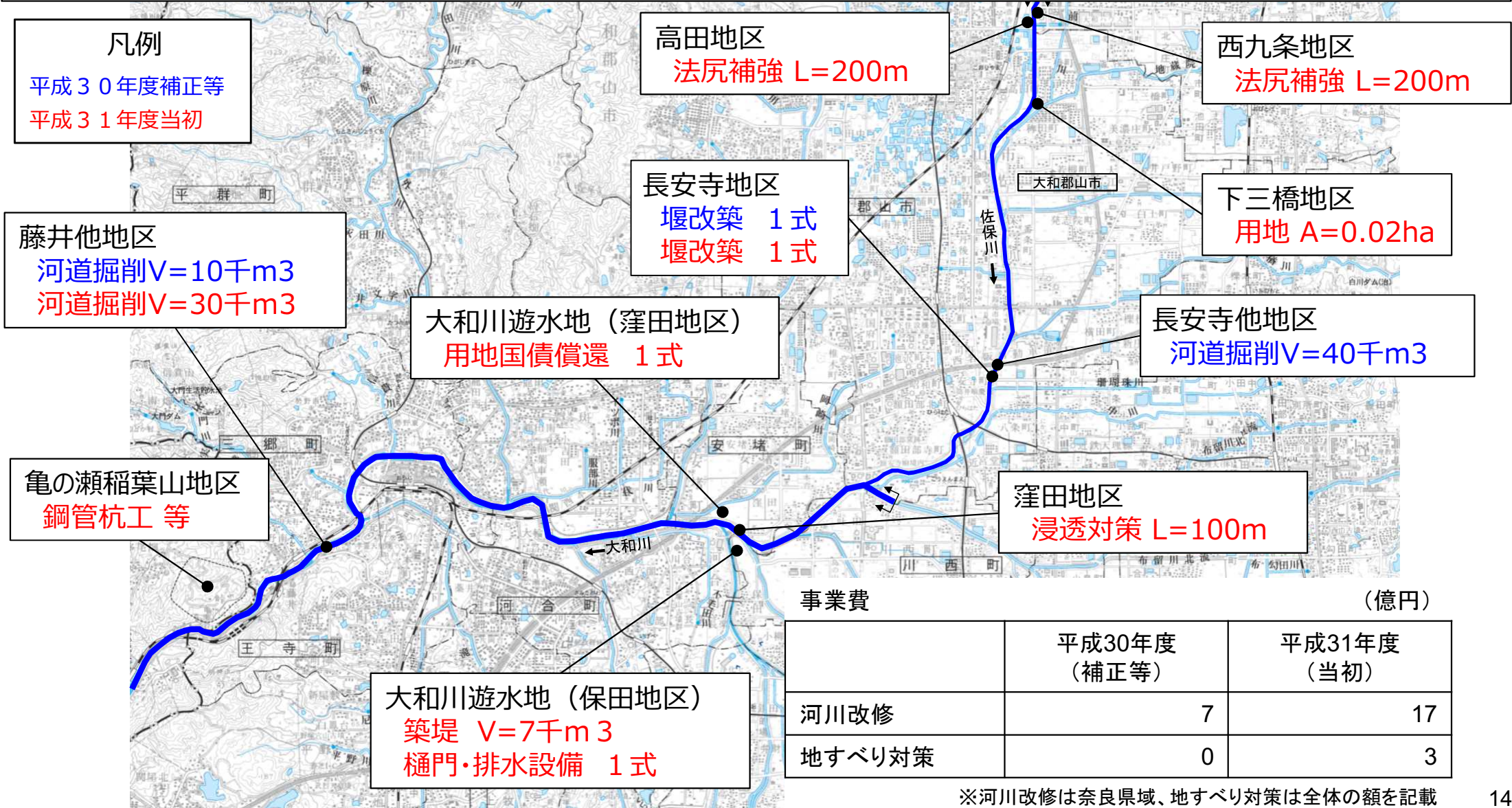


※内水浸水の範囲は、詳細調査中のため今後変更することがあります。
※遊水地整備予定箇所については、今後の調査などにより変更することがあります。

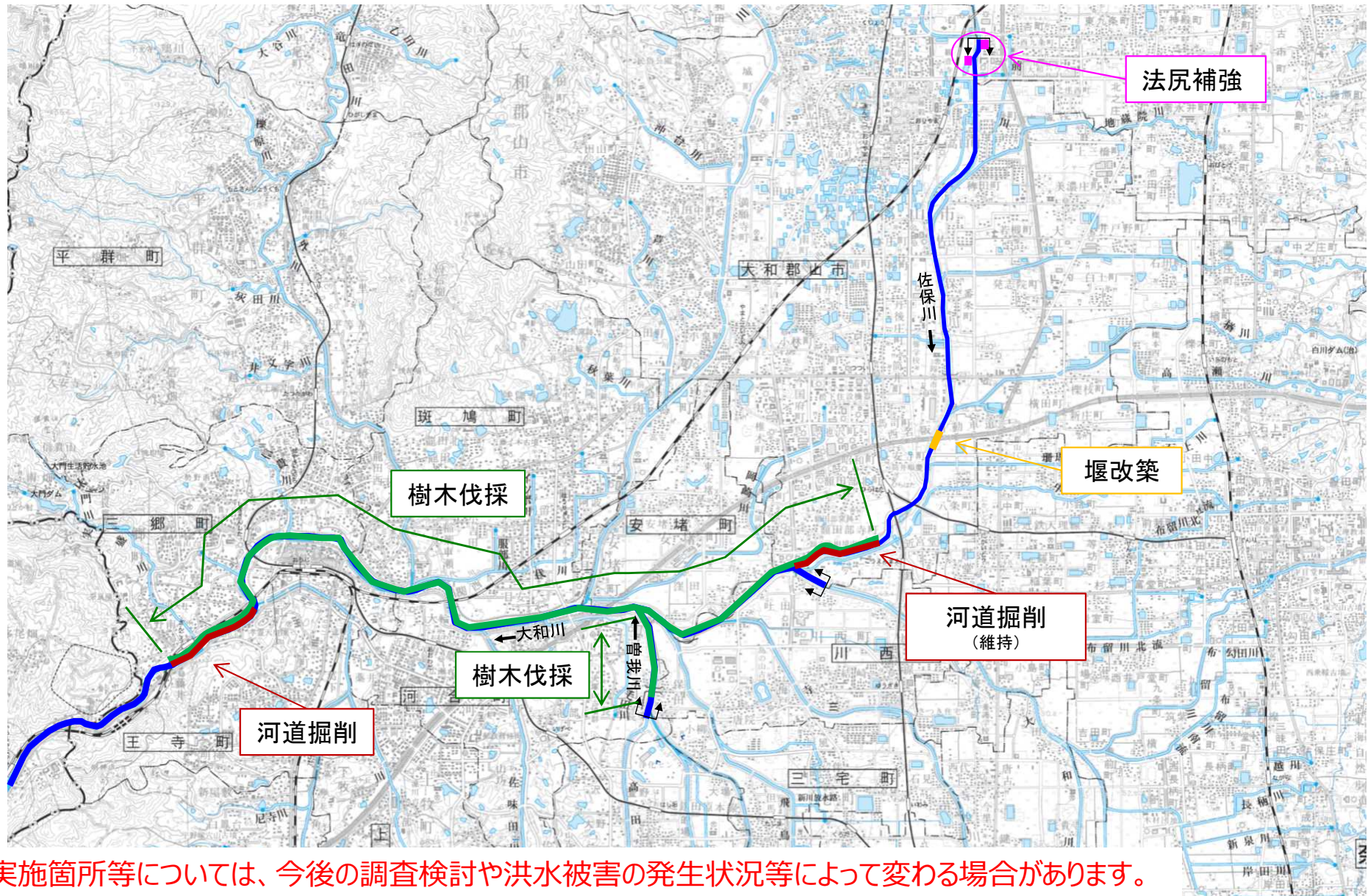
直轄事業の取組

平成31年度直轄事業の主な整備内容

○平成29年台風21号や平成30年7月豪雨の早期被害軽減を目指し、平成30年度補正や平成31年度予算を活用し、以下の地区等にて遊水地事業や河川改修事業、地すべり対策事業等を進め、治水安全度向上を目指します。

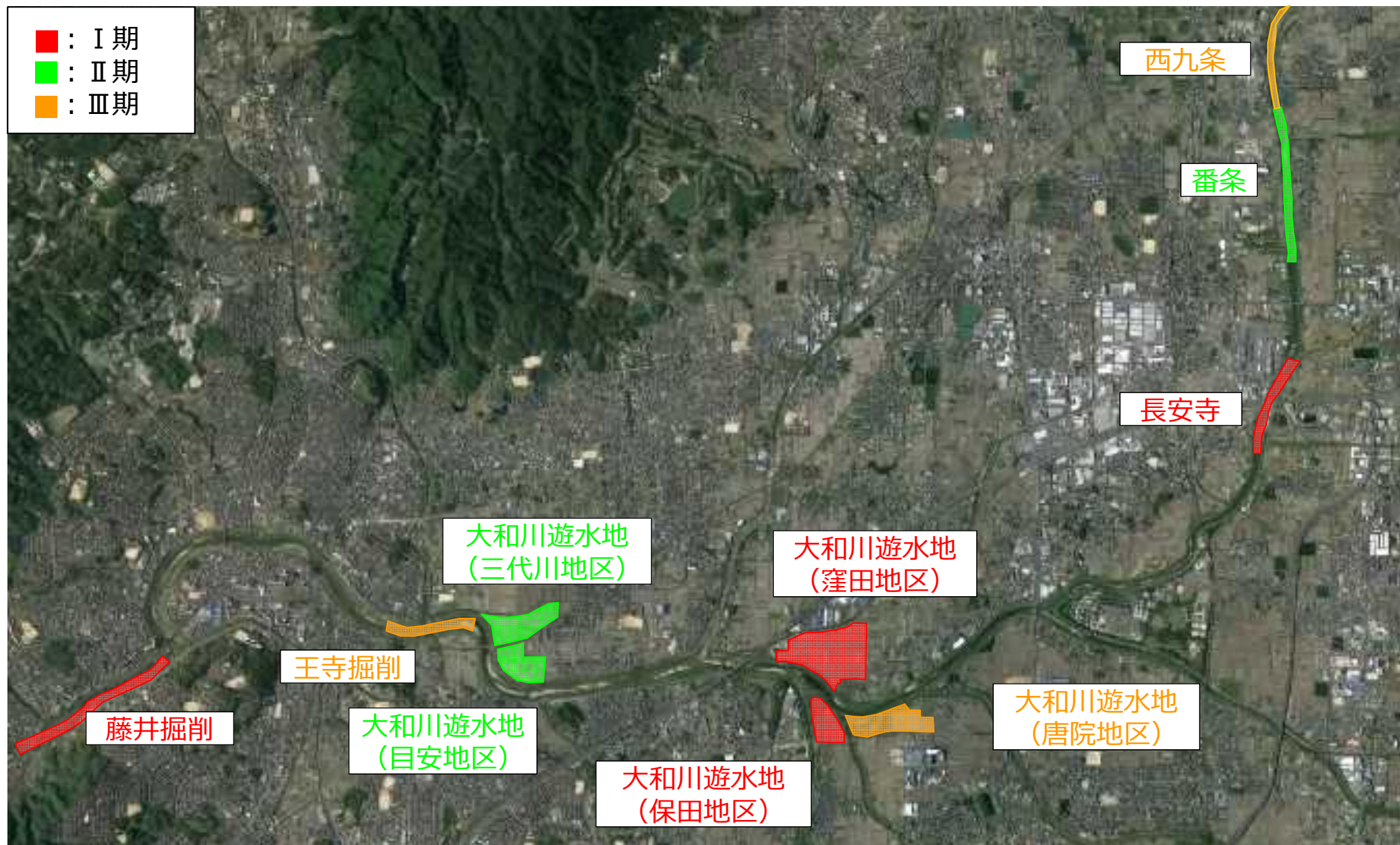


○平成30年7月豪雨等の近年の災害を踏まえ実施した重要インフラの緊急点検結果に基づき、洪水時の危険性に関する緊急対策として、緊急的に樹木伐採・河道掘削等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。



※ 具体的実施箇所等については、今後の調査検討や洪水被害の発生状況等によって変わる場合があります。

○大和川遊水地を起点とした中流域の強靱化（外水にも内水にも強い地域づくり）を進める。



大和川河川事務所

-
- 出典: 川の水位情報 (<https://k.river.go.jp>)
奈良県域(19箇所抜粋)

情報提供

2) 流域対策の進捗状況について

令和元年5月27日
大和川流域総合治水対策協議会

1. 流域対策の取組状況

(1)大和川流域における流域対策の進捗状況

奈良県と市町村の流域対策の目標量(最小必要量)

- ◆昭和57年の大和川大水害を機に、大和川流域を洪水被害から守るため、県と市町村で流出抑制に取り組むことに合意
- ◆流域全体で県と市町村あわせて、約180万m³の貯留対策に取り組むことになっている。

奈良県と市町村の流域対策の最小必要量					
機 関 名	雨水貯留浸透 施設対策量 (m ³)	ため池治水 利用対策量 (m ³)	機 関 名	雨水貯留浸透 施設対策量 (m ³)	ため池治水 利用対策量 (m ³)
奈 良 市	14,610	310,500	田 原 本 町	2,440	29,700
大 和 高 田 市	3,790	18,300	高 取 町	1,080	18,900
大 和 郡 山 市	5,410	71,700	明 日 香 村	540	15,900
天 理 市	3,520	65,700	新 庄 町	1,080	22,500
橿 原 市	6,770	40,200	当 麻 町	810	17,500
桜 井 市	5,140	30,300	香 芝 町	2,710	55,300
御 所 市	4,060	48,900	上 牧 町	1,350	21,600
生 駒 市	5,410	62,700	王 寺 町	1,350	21,600
平 群 町	1,350	20,700	広 陵 町	1,900	32,400
三 郷 町	1,080	25,800	河 合 町	1,350	19,500
斑 鳩 町	1,630	29,700	大 淀 町	—	1,500
安 堵 町	540	9,400	小 計	69,000	1,000,000
川 西 町	810	6,700	奈 良 県	50,000	700,000
三 宅 町	270	3,000	合 計	119,000	1,700,000

→ 合計181.9万m³

附則1 今後早急に検討するものについては、成案が出来次第、
実施要領の変更により、具体的内容を組み込むものとする。

【大和川流域整備計画実施要領より】

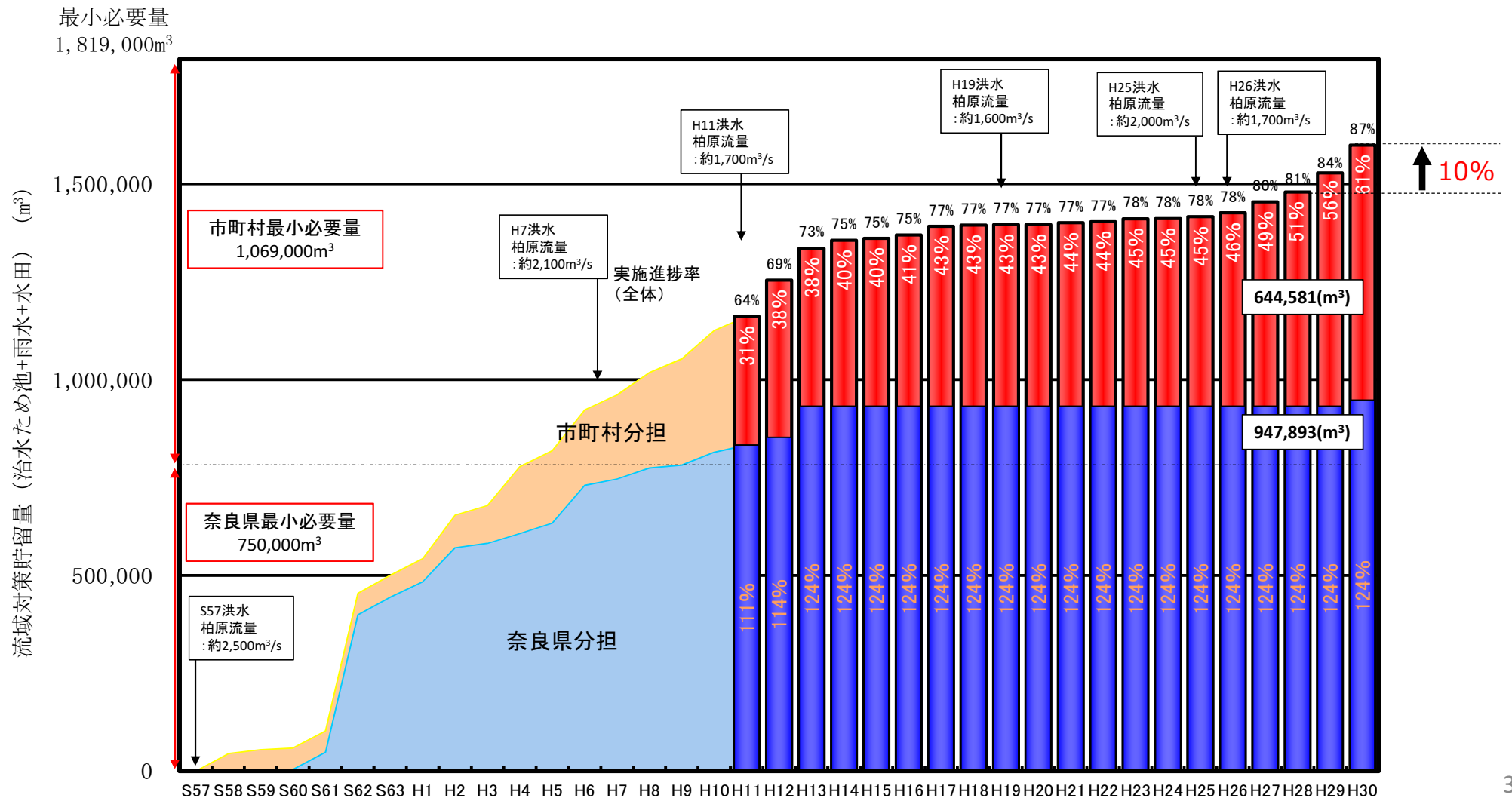
1. 流域対策の取組状況

(1)大和川流域における流域対策の進捗状況

- ◆ **H31.3**現在で、計画目標量の**87%**の達成状況となっており、県では**124%**の達成状況となっている。
- ◆ 市町村では、計画目標量の**61%**の達成にとどまっているものの、平成28年度以降、進捗率は**10%**伸びている。

※ 水田貯留による対策量を含む

流域対策(ため池治水利用＋雨水貯留浸透施設＋水田貯留)の進捗状況



1. 流域対策の取組状況

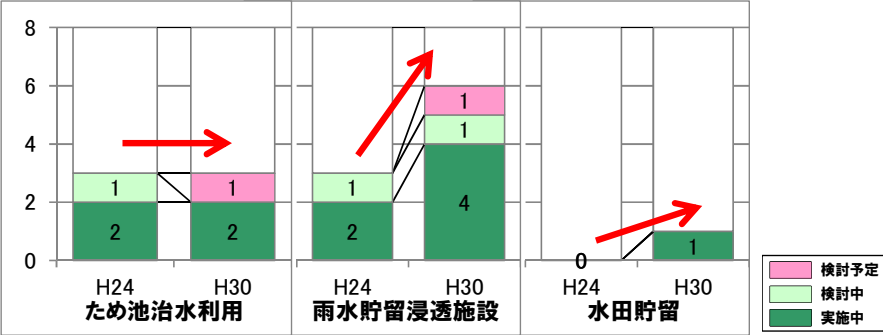
(2) 上下流市町村の流域対策の取組状況(圏域別)

- ◆流域対策に取り組む市町村は増加しているものの、全体として進捗率は低迷している
- ◆浸水被害が発生している上流側の市町村で流域対策の進捗が遅れる傾向があり、上下流市町村で進捗率がばらついている
- ◆あらたに三宅町、田原本町が、対策率100%を満足

①生駒いかるが圏域・②平城圏域

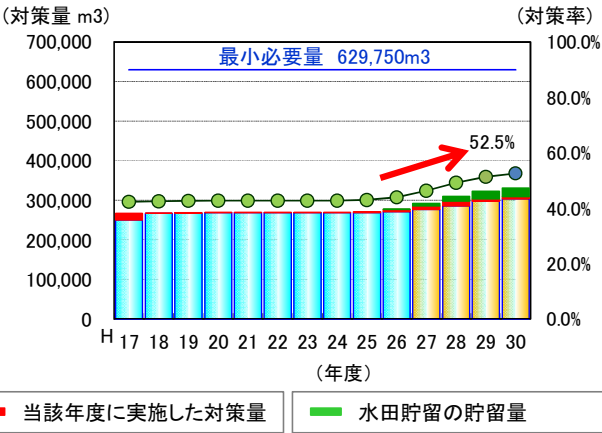
- ◆大和川沿川や佐保川の中下流域で内水被害が発生しており、上流域での流出抑制が必要。
- ◆ため池治水利用では、奈良市、生駒市が対策に取り組んでいる。
- ◆雨水貯留浸透施設では、大和郡山市、天理市、生駒市、三郷町が対策に取り組んでいるほか、奈良市が検討中。
- ◆水田貯留では、大和郡山市が対策に取り組んでいる。

【流域対策に取り組む市町村数の変化】全8市町(うち、目標達成は2市町) 【流域対策の進捗状況】



市町村名	最小必要量 (m3)	①ため池+雨水貯留 (H31.3)		②ため池+雨水貯留+水田 (H31.3)		取組状況 (H31.3現在)		
		対策済量 (m3)	対策率 (%)	対策済量 (m3)	対策率 (%)	ため池 治水利用	雨水貯留 浸透施設	水田貯留
奈良市	325,110	105,539	32.5	105,539	32.5	実施中	検討中	予定なし
大和郡山市	77,110	55,525	72.0	71,946	93.3	検討予定	実施中	実施中
天理市	69,220	41,952	60.6	41,952	60.6	予定なし	実施中	予定なし
生駒市	68,110	30,165	44.3	30,165	44.3	実施中	実施中	予定なし
平群町	22,050	4,635	21.0	4,635	21.0	予定なし	検討予定	予定なし
三郷町	26,880	46,396	172.6	46,396	172.6	予定なし	実施中	予定なし
斑鳩町	31,330	21,689	69.2	27,689	88.4	予定なし	予定なし	予定なし
安堵町	9,940	2,575	25.9	2,575	25.9	予定なし	予定なし	予定なし
圏域合計	629,750	308,476	49.0	330,897	52.5			

【流域対策の推移】

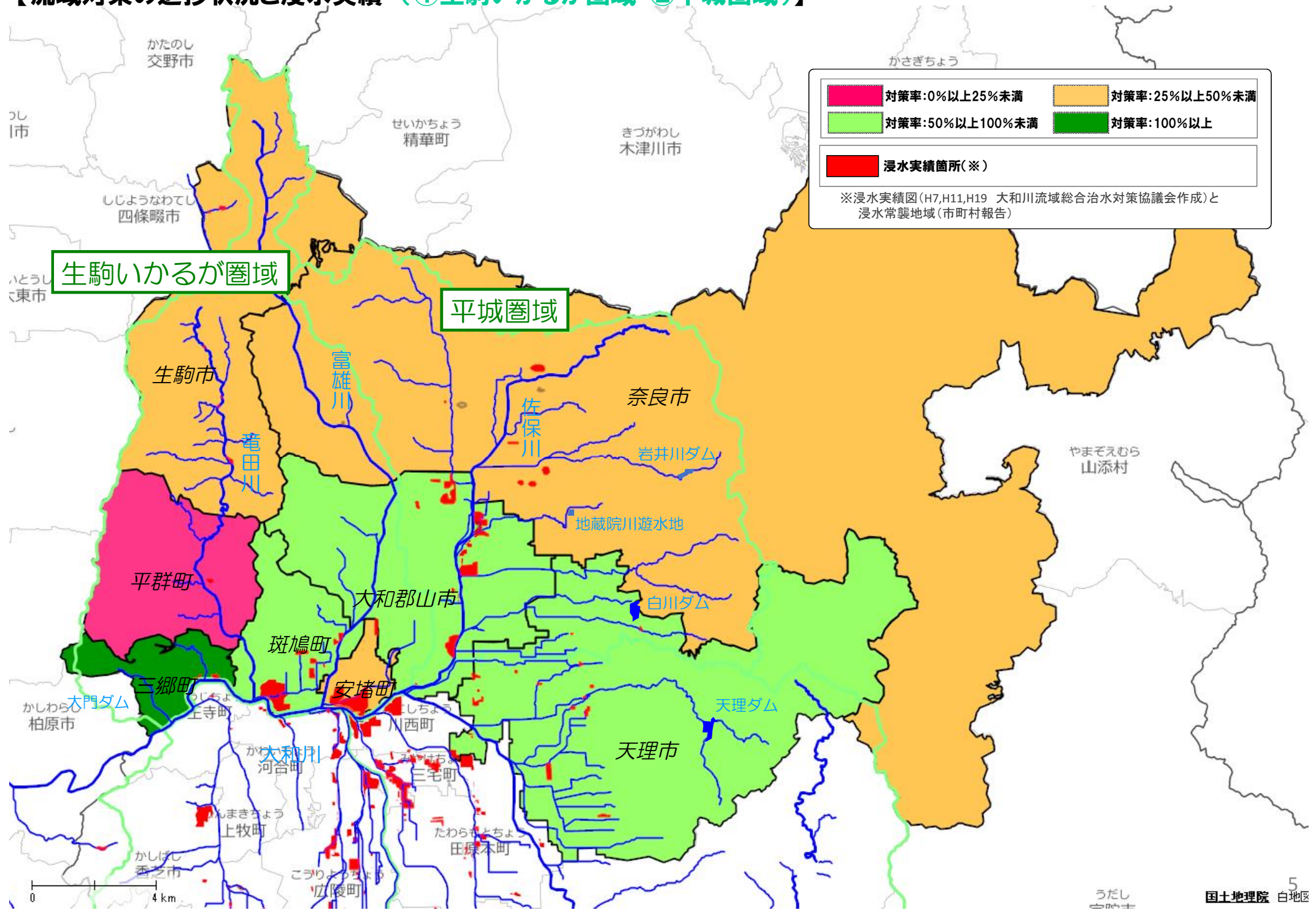


- 凡例
- 対策率:0%以上25%未満
 - 対策率:25%以上50%未満
 - 対策率:50%以上100%未満
 - 対策率:100%以上

- 実施中** 工事中または設計中(関係者と概ね合意済み)
- 検討中** 具体的な候補地が決まり、関係者と調整中または近々、調整を行う予定のもの
- 検討予定** 具体的な候補地は決まっていないが、今後、検討を行っていく予定のもの
- 予定なし** 当面、検討の予定がないもの

※対策済量に奈良県の対策量は含めていない。平成31年3月時点での数値
※市町村の進捗は、各圏域に流域を持つ市町村の値を示したもの
※①ため池+雨水貯留は、『ため池治水利用施設』と『雨水貯留浸透施設』の対策済量を合計した数値で、ため池+雨水貯留+水田は、これに水田貯留の貯留量を加算
②水田貯留の貯留量は、「実施面積(m²)×湛水深(cm)」で算出した値とする

【流域対策の進捗状況と浸水実績（①生駒いかるが圏域・②平城圏域）】

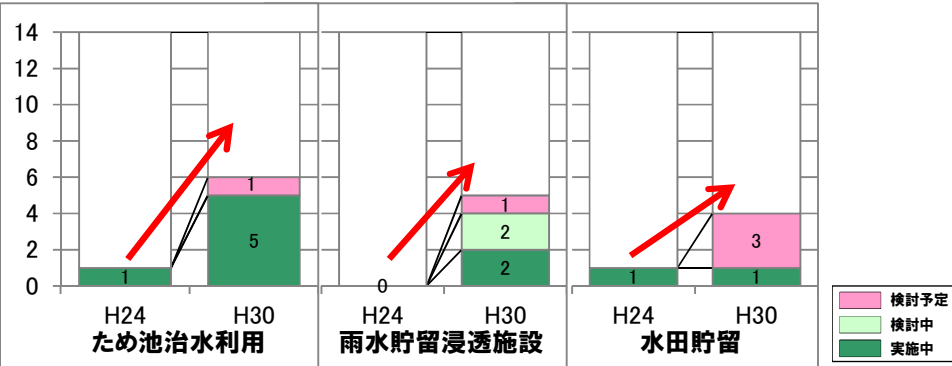


③ 曽我葛城圏域

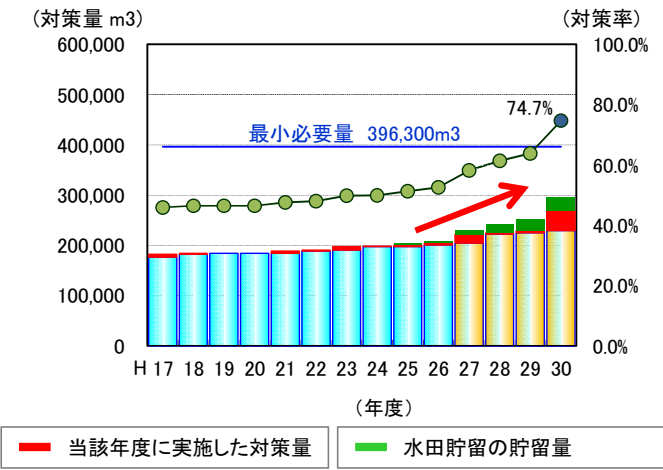
- ◆大和高田市や広陵町、河合町など中下流域を中心に内水被害が発生しており、上流域で流出抑制が必要
- ◆ため池治水利用では、御所市、香芝市、葛城市、三宅町、田原本町が対策に取り組んでいる。
- ◆雨水貯留浸透施設では、大和高田市、田原本町が対策に取り組んでいるほか、王寺町、広陵町が検討中。
- ◆水田貯留では、広陵町が対策に取り組んでいる。
- ◆あらたに三宅町、田原本町が、対策率100%を満足

【流域対策に取り組む市町村数の変化】

全14市町村(うち、目標達成は7市町)



【流域対策の推移】



【流域対策の進捗状況】

市町村名	最小必要量 (m³)	①ため池+雨水貯留 (H31.3)		②ため池+雨水貯留+水田 (H31.3)		取組状況 (H31.3現在)		
		対策済量 (m³)	対策率 (%)	対策済量 (m³)	対策率 (%)	ため池 治水利用	雨水貯留 浸透施設	水田貯留
大和高田市	22,090	27,112	122.7	27,912	126.4	予定なし	実施中	予定なし
橿原市	46,970	50,094	106.7	54,294	115.6	予定なし	予定なし	予定なし
御所市	52,960	26,925	50.8	26,925	50.8	実施中	予定なし	予定なし
香芝市	58,010	31,623	54.5	31,623	54.5	実施中	予定なし	予定なし
葛城市	41,890	15,077	36.0	15,077	36.0	実施中	予定なし	予定なし
三宅町	3,270	7,520	230.0	7,520	230.0	実施中	検討予定	検討予定
田原本町	32,140	24,860	77.3	40,810	127.0	実施中	実施中	検討予定
高取町	19,980	2,186	10.9	2,186	10.9	予定なし	予定なし	予定なし
明日香村	16,440	15,398	93.7	15,398	93.7	予定なし	予定なし	予定なし
上牧町	22,950	7,477	32.6	7,477	32.6	検討予定	予定なし	予定なし
王寺町	22,950	24,639	107.4	24,639	107.4	予定なし	検討中	予定なし
広陵町	34,300	5,260	15.3	10,390	30.3	予定なし	検討中	実施中
河合町	20,850	25,610	122.8	25,610	122.8	予定なし	予定なし	検討予定
大淀町	1,500	6,000	400.0	6,000	400.0	予定なし	予定なし	予定なし
圏域合計	396,300	269,781	68.1	295,861	74.7			

凡例

対策率:0%以上25%未満

対策率:25%以上50%未満

対策率:50%以上100%未満

対策率:100%以上

実施中

 工事中または設計中(関係者と概ね合意済み)

検討中

 具体的な候補地が決まり、関係者と調整中または近々、調整を行う予定のもの

検討予定

 具体的な候補地は決まっていないが、今後、検討を行っていく予定のもの

予定なし

 当面、検討の予定がないもの

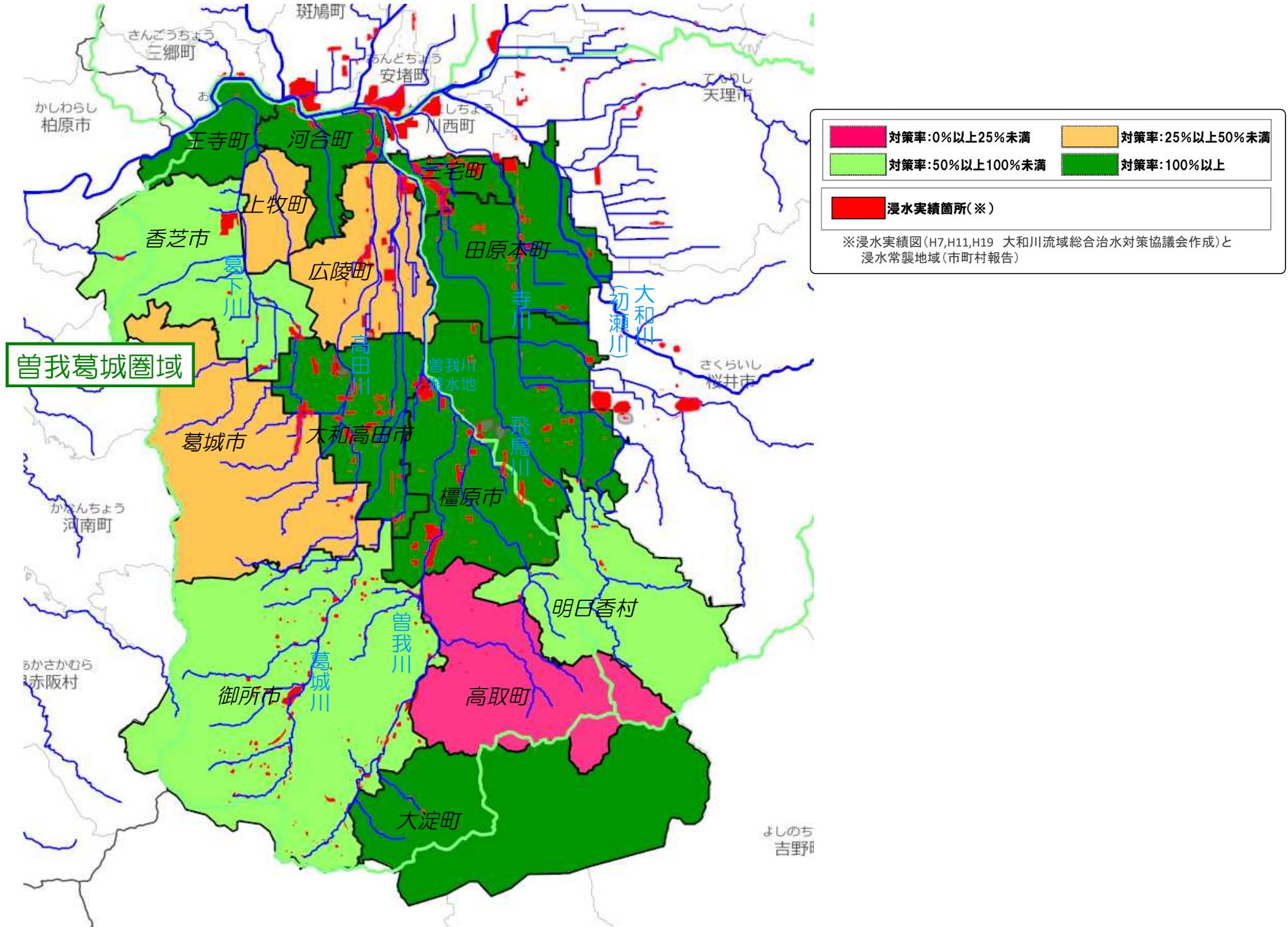
※対策済量に奈良県の対策量は含まれていない。平成31年3月時点での数値

※市町村の進捗は、各圏域に流域を持つ市町村の値を示したもの

※①ため池+雨水貯留は、『ため池治水利用施設』と『雨水貯留浸透施設』の対策済量を合計した数値で、ため池+雨水貯留+水田は、これに水田貯留の貯留量を加算

②水田貯留の貯留量は、「実施面積(m²)×湛水深(cm)」で算出した値とする

【流域対策の進捗状況と浸水実績（③曾我葛城圏域）】

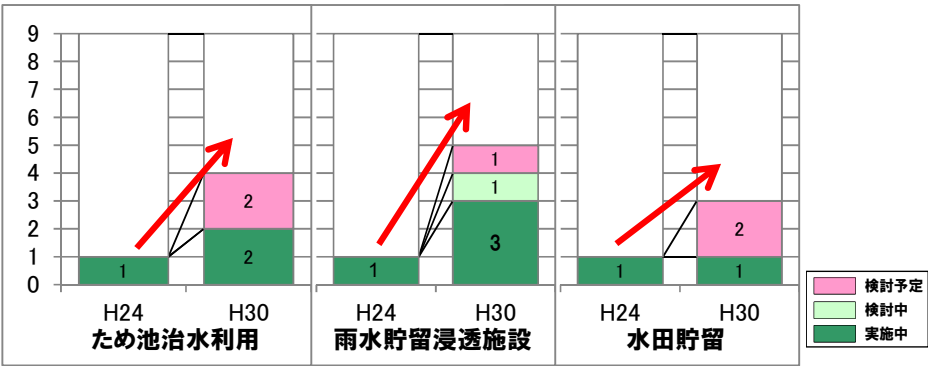


④布留飛鳥圏域

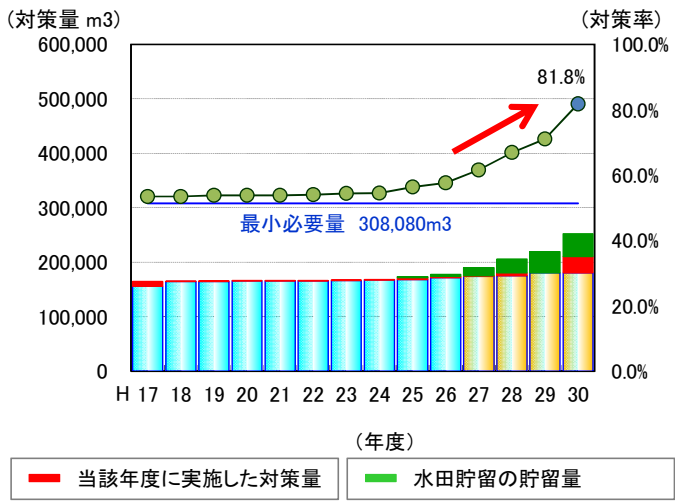
- ◆寺川や飛鳥川沿いの中下流域などで内水被害が発生しており、上流域で流出抑制が必要
- ◆ため池治水利用では、三宅町、田原本町が対策に取り組んでいる。
- ◆雨水貯留浸透施設では、大和郡山市、天理市、田原本町が対策に取り組んでいるほか、桜井市が検討中。
- ◆水田貯留では、大和郡山市が対策に取り組んでいる。
- ◆あらたに三宅町、田原本町が、対策率 100%を満足

【流域対策に取り組む市町村数の変化】

全9市町村(うち、目標達成は4市町)



【流域対策の推移】



【流域対策の進捗状況】

市町村名	最小必要量 (m3)	①ため池+雨水貯留 (H31.3)		②ため池+雨水貯留+水田 (H31.3)		取組状況 (H31.3現在)		
		対策済量 (m3)	対策率 (%)	対策済量 (m3)	対策率 (%)	ため池治水利用	雨水貯留浸透施設	水田貯留
大和郡山市	77,110	55,525	72.0	71,946	93.3	検討予定	実施中	実施中
天理市	69,220	41,952	60.6	41,952	60.6	予定なし	実施中	予定なし
橿原市	46,970	50,094	106.7	54,294	115.6	予定なし	予定なし	予定なし
桜井市	35,440	11,744	33.1	16,444	46.4	予定なし	検討中	予定なし
川西町	7,510	1,379	18.4	1,379	18.4	検討予定	予定なし	予定なし
三宅町	3,270	7,520	230.0	7,520	230.0	実施中	検討予定	検討予定
田原本町	32,140	24,860	77.3	40,810	127.0	実施中	実施中	検討予定
高取町	19,980	2,186	10.9	2,186	10.9	予定なし	予定なし	予定なし
明日香村	16,440	15,398	93.7	15,398	93.7	予定なし	予定なし	予定なし
圏域合計	308,080	210,658	68.4	251,929	81.8			

凡例

対策率:0%以上25%未満

対策率:25%以上50%未満

対策率:50%以上100%未満

対策率:100%以上

実施中

検討中

検討予定

予定なし

工事中または設計中(関係者と概ね合意済み)

具体的な候補地が決まり、関係者と調整中または近々、調整を行う予定のもの

具体的な候補地は決まっていないが、今後、検討を行っていく予定のもの

当面、検討の予定がないもの

※対策済量に奈良県の対策量は含めていない。平成31年3月時点での数値
※市町村の進捗は、各圏域に流域を持つ市町村の値を示したもの
※①ため池+雨水貯留は、『ため池治水利用施設』と『雨水貯留浸透施設』の対策済量を合計した数値で、ため池+雨水貯留+水田は、これに水田貯留の貯留量を加算
②水田貯留の貯留量は、「実施面積(m²)×湛水深(cm)」で算出した値とする

【流域対策の進捗状況と浸水実績（④布留飛鳥圏域）】

